

学校だより



横浜市立つづきの丘小学校

つづきの空

6月号

令和8年5月29日

～高めよう学び 広げようつながり 輝こう未来へ つづきの丘の子～

## 『七転八起』全力パワーでかけぬけろ！！

副校長 久保田 昭彦

いよいよ5月30日（土）は、第28回つづきの丘小学校運動会です。小学校にとって運動会は、年間を通して最も大きな行事の一つです。教職員も子どもたちも一丸となって、運動会を創り上げてきました。今回は、運動会がどのように創り上げられてきたのか、その一端をご紹介しますと思います。

まず、教職員の準備についてです。4月に新しい学年がスタートしてから、運動会のダンスをどうするか話し合い、実際に動画や資料をもとに各ブロックごとに分かれて、放課後に一生懸命練習してきました。また、何度も会議を重ね、運動会に向けて意見を出し合いながら、よりよいものを創り上げるために取り組んできました。こうした教職員の努力なくしては、運動会を創り上げることはできません。

次に、運動会の主役である子どもたちです。小学校には1年生から6年生まで、幅広い発達段階の子どもたちがいます。また、運動会が好きな子もいれば、少し苦手な子もいます。だからこそ、参加の仕方も一人ひとり異なります。リレーの選手として毎日練習に励んでいる子、応援団としてみんなを励ますことを目標にしている子、運動会に参加すること自体を目指している子など、さまざまです。

これはまさに、今求められている「個別最適な学び」の姿とも言えます。どのような目標であったとしても、新しい学年になってここまで取り組んできたこと自体がとても尊いことです。運動会ですから勝ち負けはつきますが、ぜひつづきっ子のみんなに温かい拍手を送っていただければと思います。

また、運動会をここまで創り上げる上で欠かせないのが、高学年（5・6年生）の力です。1～4年生が下校した後、3回にわたって運動会実行委員会に取り組んでいました。高学年の子どもたちは、教職員とともに運動会を創り上げる大切な存在です。本当に頼りになる活躍でした。前日準備や当日の働きにも大いに期待しています。ここまでの取り組みに、心から感謝しています。

学校行事は一時的な盛り上がりだけで終わるものではありません。日常生活の質が高まってこそ、その意味が生まれます。これからは、運動会を通して身に付けた力や高まった力を日々の学校生活で十分に発揮し、さらに成長してほしいと願っています。

今後も「七転八起」の気持ちで、学校生活に積極的に挑戦してほしいと思います。挑戦の先にあるのは「成功か学び」です。そのために、これからも教職員一同、子どもたち一人ひとりを大切に見守っていきます。保護者の皆様におかれましても、引き続きご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。